

第32回 契約・調達管理会議 議事要旨

1 開催日時

令和7年1月15日（水曜日）16時00分から16時50分まで

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎14階 14D会議室（オンライン会議併用）

3 出席者

（1）委員（敬称略、五十音順、○委員長）

○鶴川 正樹 監査法人ナカチ／公認会計士
川口 貴史 公益財団法人東京2025世界陸上財団総務企画室財務副部長（契約・調達課長事務取扱）
滝口 広子 北浜法律事務所・外国法共同事業／弁護士
中山 正晃 東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第一課長
三浦 大助 東京都生活文化スポーツ局事業調整担当部長
森谷 真咲 公益財団法人日本陸上競技連盟事務局経営企画部管理課長

（2）事務局

東京都生活文化スポーツ局

4 要旨

（1）開会

（2）議事（発言者の敬称略）

- ・ 東京2025世界陸上サポーター（警備サービス）スポンサーシップ契約【資料1】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

（ア）「警備サービス」カテゴリーにおけるスポンサー公募と警備業務委託の入札を同時に行い、スポンサーシップ契約の協賛額と警備業務委託の調達額の差が最小となる事業者を優先交渉者として決定した。

（イ）「収入案件（スポンサー契約関係）」であるため契約締結前に付議する。

<質疑・意見など>

特になし

（３）マラソン競技実施に係るマラソン財団との協定締結について【資料２】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

- （ア） 会場・路上競技の運営・警備業務については、それぞれの業務内容の特性に応じて発注方式を選択することとしているが、世界陸上のマラソンは都心部で初めて２日連続で長時間の交通規制を行い実施するもので、迂回を余儀なくされる、周辺道路が渋滞する、物流が滞るなど社会的な影響が大きいため、本案件は、専門的知識・ノウハウに基づく高い履行能力を持つ事業者を選定することが望ましい。
- （イ） 東京マラソン財団は、都心部で行われる国際大会クラスのフルマラソンの運営を行っている唯一の団体であり、豊富な経験、運営実績を有していることから、協定を締結し、マラソン競技の実施・運営業務を担う形とする。
- （ウ） 世界陸上財団と東京マラソン財団が、それぞれの資源及び実績等を活用し、連携してマラソン競技を円滑かつ着実に実施・運営するため、協定の中でそれぞれの役割分担等を定め、連携・協力体制を構築する。

<質疑・意見など>

滝 口：本協定の予算規模の妥当性はいかがか。

担当者：ルートや参加選手数が類似している他の大会と比較して、同程度であることを確認している。

滝 口：工数についてはどうか。

担当者：機材の数量や配置する人員数等についても精査し、他大会と同程度かそれ以下に収めている。

鵜 川：特定の相手先と協定を結ぶにあたり、相手先の選定理由を対外的にどのように説明する予定か。

担当者：本案件は、開催当日の運営だけでなく、開催までの準備や関係者との調整も含まれており、コース周辺の自治会や町会をはじめ、警視庁や関係自治体など多くの沿道関係者との事前調整や大規模な交通規制に関する情報提供等が必要となる。東京マラソン財団は、半年後の大会までに、このような準備・運営業務を確実に行うことができる唯一の団体である。また、東京マラソン財団に、世界陸上のマラソン競技運営業務により得られた知識、ノウハウをレガシーとして継承してもらいたいと考えている。

（４）委員長によるまとめ

- ・ 契約予定案件については、各委員の意見もふまえ契約手続きを進めていただきたい。

（５）閉会